熊本地域公共交通計画の変更について

資料 5-①

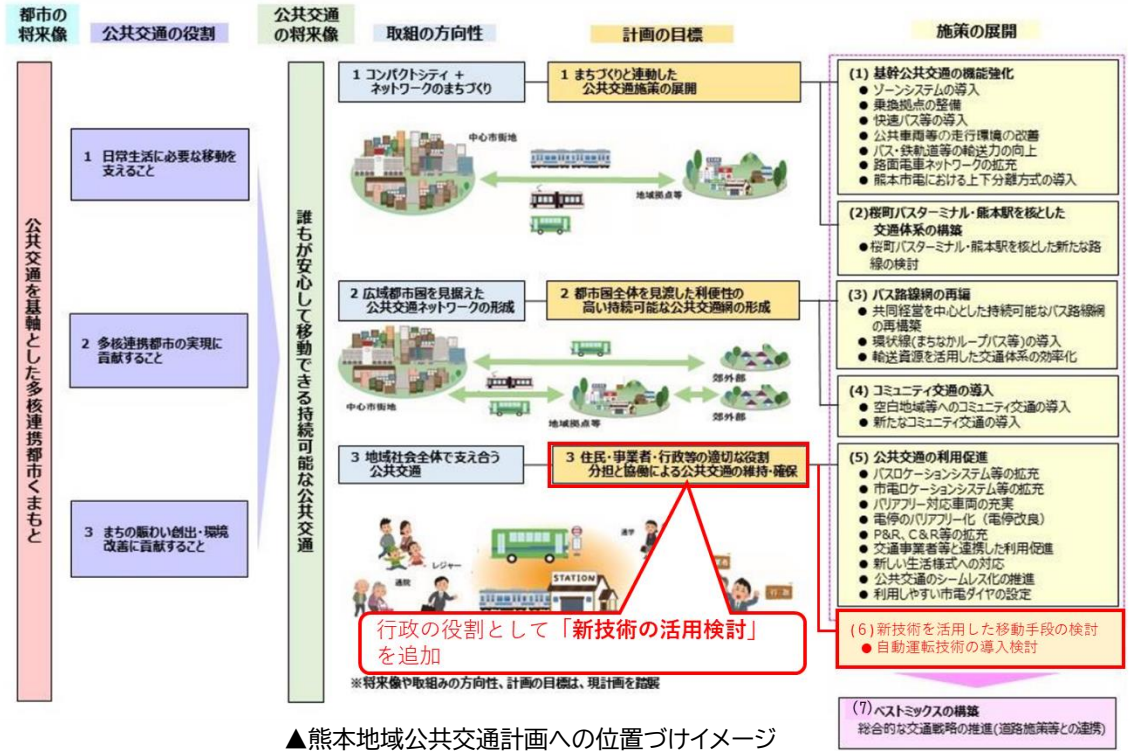
＜計画変更の概要・目的＞

〇昨今の深刻な運転士不足への対応や移動手段の確保、公共交通の利用促進など地域公共交通が抱える課題解決に向けて、令和6年度より、自動運転を目指した運転支援レベル2のバスでの実証運行を開始し、安全性や社会受容性を確認のうえ、今後の自動運転レベル4実装に向けた検証を実施中。

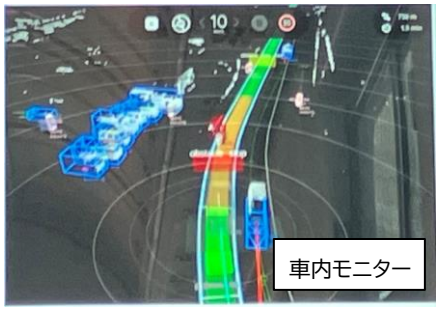
〇持続可能な公共交通網を形成するために必要な取組として、国の補助事業を活用しながら計画的に自動運転導入を推進していくため、「新技術の活用（自動運転の導入検討）」として熊本地域公共交通計画への位置付けを諮るもの。（変更内容の詳細は、資料5-②新旧対照表のとおり）

＜今後の展開（イメージ）＞

	社会実験フェーズ		実装・展開フェーズ
	R6（2024）年度	R7（2025）～R8（2026）年度	R9（2027）年度～
	レベル2	レベル2継続～レベル4検証	左記の継続～レベル4実装
実施内容	〇安全性・社会受容性の確認 〇機運の醸成	〇レベル2検証を継続しながら、レベル4検証へのステップアップ 〇他ルート（バス路線等）への展開 ※詳細はR6実施状況を踏まえ検討	
計画	〇地域公共交通計画への位置付け（一部改定）	〇計画改定（R8.4）に合わせた見直し ⇒ 計画に基づき事業実施	



▲熊本地域公共交通計画への位置づけイメージ



▲令和6年度実証運行車両（運転支援レベル2）

令和6年度実証運行ルート ▶